

【男女共同参画について】

男女が互いに、「みとめあい ささえあい」性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる社会を実現するうえで、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考え方についてどう思いますか。次の中から1つだけ○をしてください。(問6)

		1 賛成	2 どちらかといえば賛成	3 どちらかといえば反対	4 反対	無回答	合計	
全体	度数	279	1,025	1,288	674	26	3,292	
	割合	8.5%	31.1%	39.1%	20.5%	0.8%	100.0%	
性別	1 男性	度数	163	536	484	229	13	1,425
		割合	11.4%	37.6%	34.0%	16.1%	0.9%	100.0%
	2 女性	度数	115	484	802	444	8	1,853
		割合	6.2%	26.1%	43.3%	24.0%	0.4%	100.0%
年代	1 20歳代	度数	25	73	126	87	0	311
		割合	8.0%	23.5%	40.5%	28.0%	0.0%	100.0%
	2 30歳代	度数	16	152	239	156	1	564
		割合	2.8%	27.0%	42.4%	27.7%	0.2%	100.0%
	3 40歳代	度数	24	151	233	127	4	539
		割合	4.5%	28.0%	43.2%	23.6%	0.7%	100.0%
	4 50歳代	度数	26	171	261	140	5	603
		割合	4.3%	28.4%	43.3%	23.2%	0.8%	100.0%
	5 60歳代	度数	71	248	275	99	4	697
		割合	10.2%	35.6%	39.5%	14.2%	0.6%	100.0%
	6 70歳以上	度数	117	228	151	65	7	568
		割合	20.6%	40.1%	26.6%	11.4%	1.2%	100.0%

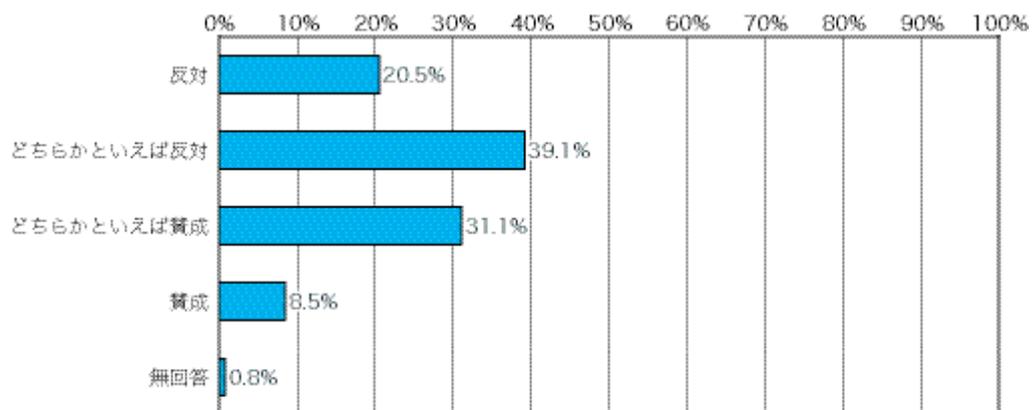
「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考えに対し、「どちらかといえば反対」という回答が最も多い。次に、「どちらかといえば賛成」、「反対」と続いている。

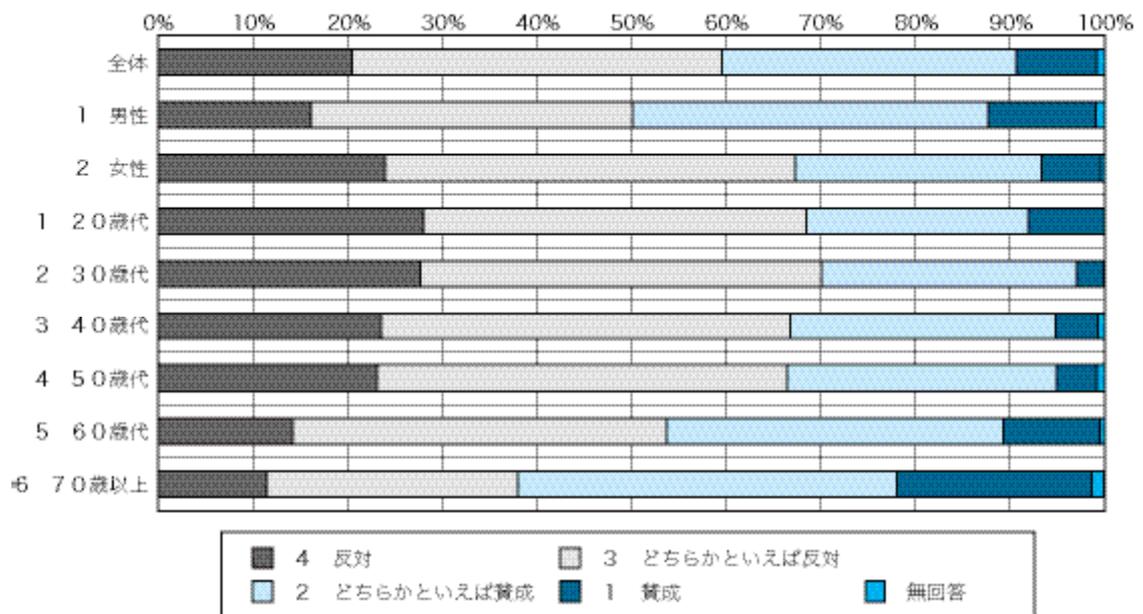
「どちらかといえば反対」、「反対」を合計すると約6割となり、「賛成」、「どちらかといえば賛成」の約4割を上回った。

男女別にみると、「女性」では、「どちらかといえば反対」、「反対」の合計が6割を超えている。一方、「男性」は約5割となり、賛成と反対が同程度となっている。

年代別にみると、「20歳代」から「50歳代」の年代層では、「どちらかといえば反対」、「反対」の合計が6割を超えた。しかし、「60歳代」では約5割、「70歳以上」では約4割となった。そのため、「60歳代」では賛成と反対が同程度となり、「70歳以上」では賛成が6割となった。

性別、年代層により、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考えに対する認識が異なっていることが分かる。





問6で「1 賛成」または「2 どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。「賛成」という理由について、次の中から最も当てはまるもの1つだけ○をしてください。(問7)

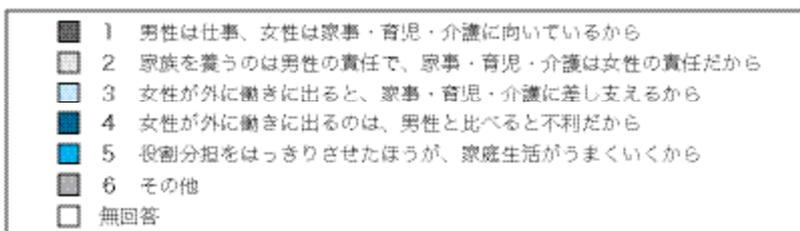
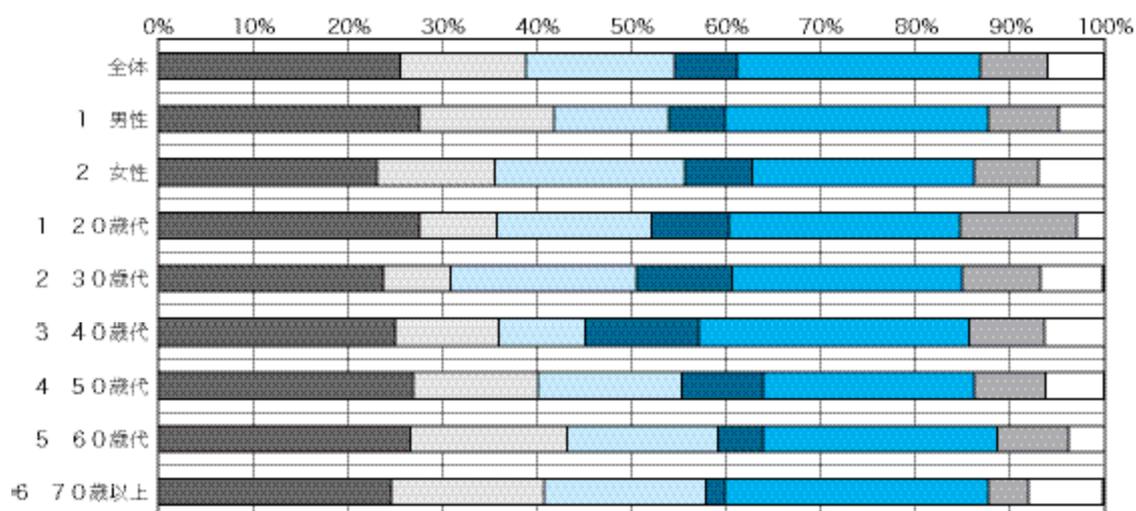
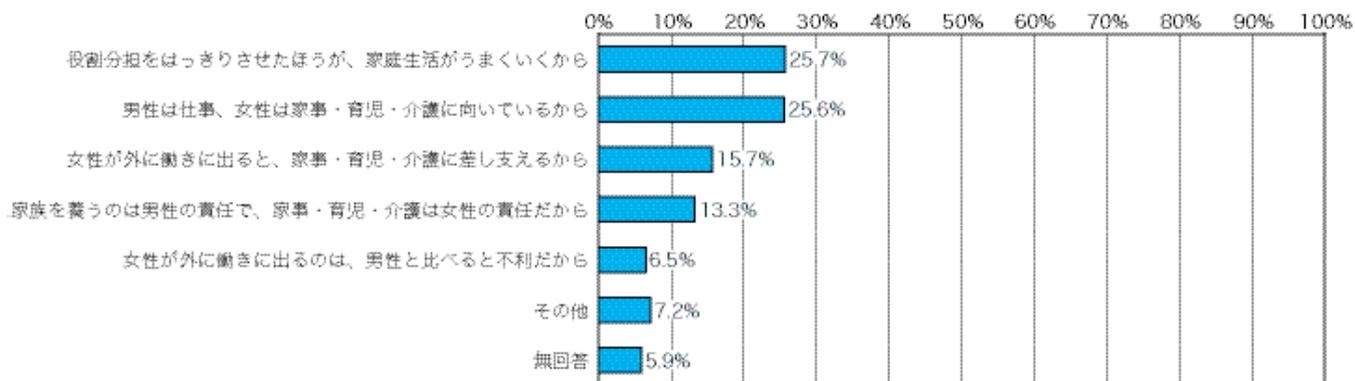
		1 男性は仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから	2 家族を養うのは男性の責任で、家事・育児・介護は女性の責任だから	3 女性が外に働きに出ると、家事・育児・介護に差し支えるから	4 女性が外に働きに出るのは、男性と比べると不利だから	5 役割分担をはっきりさせたほうが、家庭生活がうまくいくから	6 その他	無回答	合計	
全体	度数	334	174	205	85	335	94	77	1,304	
	割合	25.6%	13.3%	15.7%	6.5%	25.7%	7.2%	5.9%	100.0%	
性別	1 男性	度数	193	99	85	41	194	52	35	699
		割合	27.6%	14.2%	12.2%	5.9%	27.8%	7.4%	5.0%	100.0%
	2 女性	度数	139	74	120	43	140	41	42	599
		割合	23.2%	12.4%	20.0%	7.2%	23.4%	6.8%	7.0%	100.0%
年代	1 20歳代	度数	27	8	16	8	24	12	3	98
		割合	27.6%	8.2%	16.3%	8.2%	24.5%	12.2%	3.1%	100.0%
	2 30歳代	度数	40	12	33	17	41	14	11	168
		割合	23.8%	7.1%	19.6%	10.1%	24.4%	8.3%	6.5%	100.0%
	3 40歳代	度数	44	19	16	21	50	14	11	175
		割合	25.1%	10.9%	9.1%	12.0%	28.6%	8.0%	6.3%	100.0%
	4 50歳代	度数	53	26	30	17	44	15	12	197
		割合	26.9%	13.2%	15.2%	8.6%	22.3%	7.6%	6.1%	100.0%
	5 60歳代	度数	85	53	51	15	79	24	12	319
		割合	26.6%	16.6%	16.0%	4.7%	24.8%	7.5%	3.8%	100.0%
	6 70歳以上	度数	85	56	59	7	96	15	27	345
		割合	24.6%	16.2%	17.1%	2.0%	27.8%	4.3%	7.8%	100.0%

「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考えに賛成な理由としては、「役割分担をはっきりさせたほうが、家庭生活がうまくいくから」、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから」が多い。

男女別にみると、「役割分担をはっきりさせたほうが、家庭生活がうまくいくから」、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから」という回答が、男女とも多くなった。しかし、「女性」では「女性が働きに出ると、家事・育児・介護に差し支えるから」という回答が3番目に多く、上位2項目との回答割合の差が少ない。

年代別にみると、いずれの年代でも上位2項目は同じとなる。しかし、「30歳代」、「40歳代」、「70歳以上」では「役割分担をはっきりさせたほうが、家庭生活がうまくいくから」が、「20歳代」、「50歳代」、「60歳代」では、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから」が最も多い理由となった。また、「30歳代」、「40歳代」では、「女性が外に働きに出るのは、男性と比べると不利だから」という回答が1割を超えている。

「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考えに賛成な理由としては、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護に向いているから」といった向き不向きの観点と、現実的な家庭生活を考えた観点とに大きく分かれると思われる。特に、女性や若い世代では現実的な家庭生活を考えた観点から、「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考えに賛成している割合が多いといえる。



問6で「4 反対」または「3 どちらかといえば反対」と答えた方におたずねします。「反対」と思う理由について、次の中から最も当てはまるもの1つだけ○をしてください。(問8)

		1 男女ともに仕事を持つ方がよいから	2 家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから	3 仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよいから	無回答	合計	
全体	度数	174	1,415	343	30	1,962	
	割合	8.9%	72.1%	17.5%	1.5%	100.0%	
性別	1 男性	度数	125	438	141	9	713
		割合	17.5%	61.4%	19.8%	1.3%	100.0%
	2 女性	度数	48	975	202	21	1,246
		割合	3.9%	78.3%	16.2%	1.7%	100.0%
年代	1 20歳代	度数	17	147	49	0	213
		割合	8.0%	69.0%	23.0%	0.0%	100.0%
	2 30歳代	度数	16	299	76	4	395
		割合	4.1%	75.7%	19.2%	1.0%	100.0%
	3 40歳代	度数	23	267	68	2	360
		割合	6.4%	74.2%	18.9%	0.6%	100.0%
	4 50歳代	度数	36	299	60	6	401
		割合	9.0%	74.6%	15.0%	1.5%	100.0%
	5 60歳代	度数	47	265	55	7	374
		割合	12.6%	70.9%	14.7%	1.9%	100.0%
	6 70歳以上	度数	34	137	34	11	216
		割合	15.7%	63.4%	15.7%	5.1%	100.0%

「男性は仕事、女性は家事・育児・介護」という考えに反対の理由としては、「家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから」が7割を超え、最も多い。

男女別にみると、「女性」では、「家事・育児・介護は男女が協力してやるべきだから」が約8割となり、「男性」では約6割と、最も回答が多い理由であるが、その回答割合には差がある。

年代別にみると、「男女ともに仕事を持つ方がよいから」という回答は、年代層が高くなるにつれ多くなっている。一方、「仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよいから」という回答は、年代層が低くなるにつれ多くなっている。特に「20歳代」では2割を超えている。

